

要 望 書

【令和8年度第1回定例会】

千葉県町村議会議長会

目 次

第 1 総合行政の充実強化について	
1 水道の広域化について	1
第 2 健康福祉行政の充実強化について	
1 子ども医療費助成等の拡充について	2
2 公立病院の経営安定化に対する財政支援について	2
第 3 農林水産行政の充実強化について	
1 農業の経営安定化に向けた継続的な支援及び拡充について ..	3
第 4 県土整備行政の充実強化について	
【道路】	
1 県道南総一宮線(一宮バイパス)の道路改良事業について ..	4
2 県道茂原・白子バイパスの建設促進について	4
3 県道日吉誉田停車場線の道路整備について	5
4 県道南総一宮線(南郷トンネル)の道路整備について	5
【河川】	
5 二級河川夷隅川の河川整備について	6
第 5 教育行政の充実強化について	
1 部活動地域展開における地域格差の解消について	7

第 1 総合行政の充実強化について

1 水道の広域化について

現在、「千葉県水道広域化推進プラン」により広域化を図っているところであり、印旛ブロックについては、管理の一体化の案について、地域の実情を踏まえ、ブロック内の事業者が共同で検討を継続していくこととなっている。

「長門川水道企業団」は、給水人口 17,819 人の小規模団体であり、機械の更新費用などについても、必要な場合は、構成団体で一部負担しなければならず、効率化が図れていないところである。

については、令和 4 年度に印旛ブロックの 9 市町から県に対し、印旛地域の用水供給事業と県営水道の統合に係る要望書を提出したところではあるが、末端給水事業者においても統合を要望するものである。

第2 健康福祉行政の充実強化について

1 子ども医療費助成等の拡充について

子ども医療費助成制度について、県は入院の助成対象を中学3年生まで、通院・調剤の助成対象を小学3年生までとしている。

しかし、現状は、自治体が独自に上乘せ助成を実施しており、自治体間で助成内容に格差が生じている。

この格差を解消することは、少子化対策として未来を担う子どもを安心して生み育てられる環境づくりとして重要な施策である。

については、通院・調剤・入院の助成対象を高校3年生相当まで拡充することを要望する。

2 公立病院の経営安定化に対する財政支援について

地域の中核病院として、広域的に救急医療や高度医療などを提供している東千葉メディカルセンターをはじめ、救急医療や政策的医療等を担う多くの公立病院については、都道府県による保健医療計画の達成に向け将来にわたり安定的な経営を求められているが、昨今の物価高騰等によるコストの増額により、厳しい経営を強いられており、市町村の負担も大きい。

こうした中、各公立病院は「経営強化プラン」を策定して、医療の役割分担と連携強化に取り組んでいるが、経営安定化に向けた環境は依然として厳しい状況にある。

については、公立病院の経営の安定化による地域医療体制の維持確保に向けた財政措置を要望する。

第3 農林水産行政の充実強化について

1 農業の経営安定化に向けた継続的な支援及び拡充について

農業は今、高齢化による労働力不足、少子化に伴う担い手不足、耕作放棄地の増加、農業生産資材の高騰、世界経済からの影響など様々な要因により、厳しい状況が続いている。

このため、農業を基幹産業とする町村では、地域経済の悪化や食料自給率の低下が懸念され、多角的かつ継続的な取組みが必要不可欠となっている。

については、強い農業と活力ある農村の実現に向け、意欲ある農業者が将来にわたって安心して営農に取り組むことができるよう、次の事項について要望する。

- (1) 農業生産資材の価格高騰に対し、農家の実質負担の軽減に効果的な支援制度の積極的な取組みと充実・強化を図りつつ、恒久的な制度にすること。
- (2) 生産コストの価格転嫁が十分に出来ていないことから、適正な価格形成に向けた仕組みの構築を継続的に図ること。

第4 県土整備行政の充実強化について

【道 路】

1 県道南総一宮線（一宮バイパス）の道路改良事業について

県道148号南総一宮線は、市原市と一宮町を結ぶ主要道路であるが国道128号との接続部分は一方通行となっており不便をきたしている。

国道409号茂原一宮道路（長生グリーンライン）と国道128号を結ぶ予定である、県道南総一宮線（一宮バイパス）の道路改良事業は、地域防災の観点からも非常に重要であり、早期の完成を要望する。

2 県道茂原・白子バイパスの建設促進について

主要地方道茂原白子線は、茂原市本納地区から白子町の海岸部までを結ぶ東西道路軸であり、国道や鉄道のない白子町では重要な道路である。

しかし、事業化され30年が経過しているが、海岸部からの優先整備区間2.1kmの工事の進捗率は極めて低いこと、また令和5年度において白子町内の残りの2.9kmの線形が示されたものの、茂原市区間4.9kmは未だ着手がなされていない状況である。

については、県道茂原白子バイパス実施計画を早期に作成のうえ、県都一時間構想の一翼を担う長生郡市の東西の骨格軸として、首都圏中央連絡自動車道茂原北ICと九十九里有料道路へのアクセスの向上、また、災害時の避難道路としての重要性を鑑み、県道茂原白子バイパスの早期完成を要望する。

3 県道日吉誉田停車場線の道路整備について

日吉誉田停車場線は、3本の主要地方道（五井本納線・千葉茂原線・市原茂原線）を結ぶ主要な路線であり、近年特に観光目的の車両や物流関連の大型車両の交通量が著しく増加している。

しかし、未だに一車線の狭隘区間においては、すれ違いに苦慮する箇所もいくつかあり、特に地域の学童は極めて危険な状態での通学を強いられている状況である。

加えて、新たな首都圏中央自動車道スマートインターチェンジ（以下S I Cという）が令和2年2月に供用開始し、近接する本路線の重要度は益々増加する一方、脆弱な路線への不安も一層増している。

については、本路線と茂原長柄S I Cが一体的な機能を果たすため、全線の改築事業化を要望する。

4 県道南総一宮線（南郷トンネル）の道路整備について

長南町水沼地先の県道南総一宮線は、幅員が狭く待避所による交互通行や見通しの悪いカーブがあり、交通弱者である歩行者等が危険にさらされている状況にある。

特に、明治45年に建設された市原市との境にある「南郷トンネル」は、乗用車同士の交互通行が不可能であり、観光バスなど大型車両の通行にも支障をきたしている。

本路線は、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の市原鶴舞I Cにアクセスする主要道路として、観光及び圏央道の整備効果を波及させるなどの重要な役割を担っている。

については、南郷トンネルをはじめとする道路整備事業の促進を要望する。

【河 川】

5 二級河川夷隅川の河川整備について

近年は、地球温暖化等による異常気象により、大型台風や集中豪雨が原因で河川の氾濫による浸水被害や土砂災害が国内で毎年発生しており、各地で甚大なる被害をもたらしている。

夷隅川は、勝浦市にその源を発し、数多くの河川をあわせ大多喜町の市街地を經由していすみ市において太平洋に注いでいる二級河川で、昭和45年及び同46年と続けて大雨による浸水被害が発生し、特に昭和45年の集中豪雨では甚大な被害が発生している。

については、地域住民の安心・安全を確保し、活力あるまちづくりのため、夷隅川の河川整備計画を早期に策定し、事業化を図るよう要望する。

第5 教育行政の充実強化について

1 部活動地域展開における地域格差の解消について

部活動地域展開を推進するにあたり、人口減少が進んでいる市町村でも対象生徒が自ら希望する活動を多くの選択肢から自由に選択できるよう、近隣市町村を含めて広域的に選択できるシステムやルール、財源の支援等のあり方について、実証事業の十分な検証結果を踏まえ、居住地域による格差を解消し、県内全ての対象生徒に活動機会を保障するよう、自治体等への財政支援の制度の創設を要望する。